

地図への被害想定を書き込み

三重県は東海・東南海・南海地震の被害想定を公表しています。また桑名市ではハザードマップや震度想定等を公表しています。それらの資料を基に災害時の被災想定を新しいビニールシートに書き込みましょう。

町・丁目・班・組などの境を区分

まず地域を更に細分化するために、町・丁目・班・組などの境をマジックでなぞり、区分します。

区分した単位毎で色分け

- 浸水・・・床上浸水(赤色)、床下浸水(オレンジ)
- 地震・・・家屋の大破(赤色)、中破(オレンジ)
- がけ崩れ・・・被害を受ける範囲(茶色)

等各種被害状況を考える。どの家かと特定する必要はありません。あくまでもイメージするための色分けになります。

被害想定は県や国等が色々と公表しています。また大学教授等が発表しているものもありますので、色々と検討し利用するとよいでしょう。

地震で家屋が大破する地域に津波や浸水が襲うと、建物の下敷きになっている方は生存救出される可能性が極めて低いでしょう。「どこで」「なにが」起こり得るかを記入し、全体的な被害の規模をイメージします。しかし、個々の被害状況を把握するものではありませんので、参加者の想像力で「どこで」「なにが」を率直に書き出しましょう。